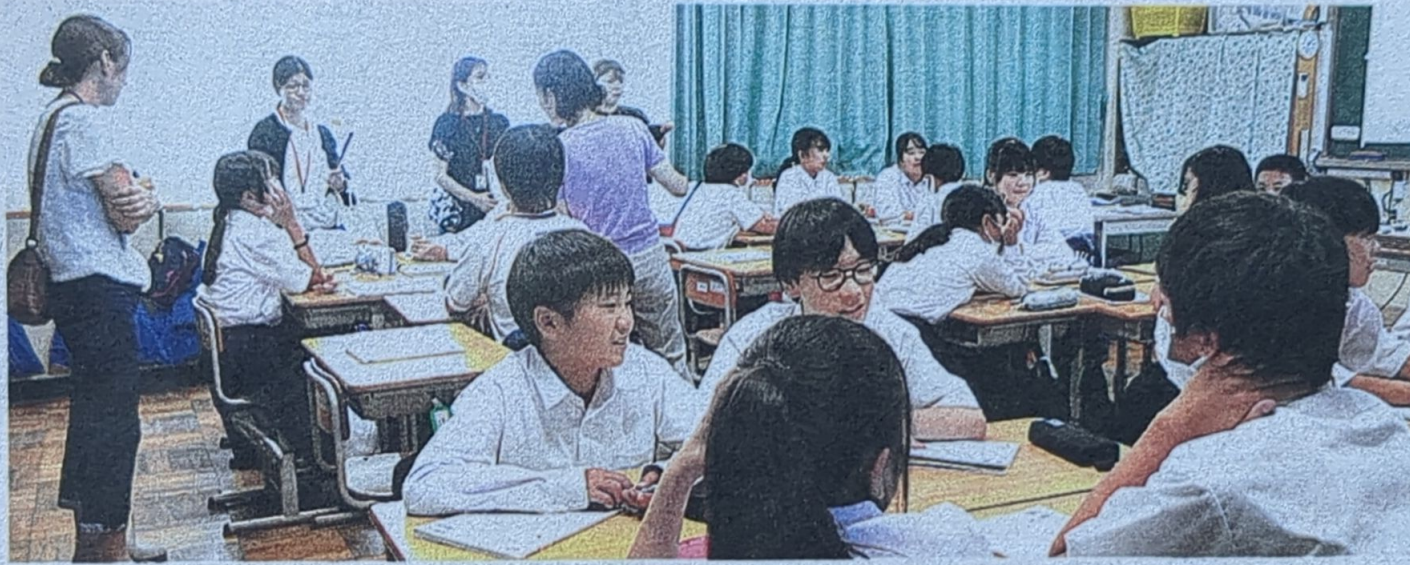


道徳の授業を見学して
指導法を考えた研究会
焼津市の和田中



多様性尊重の道徳指導とは 焼津和田中授業 県内教員が見学

道徳教育の推進に取り組むモラロジー道徳教育財団は17日、道徳教育研究会（静岡新聞社・静岡放送後援）を焼津市の和田中で開い

た。県内の教員ら123人が道徳の授業を見学し、指導の在り方を考えた。

和田中では海外にルーツを持つ

生徒の割合が高く、「多様性を尊重した教育」を道徳教育の目標に設定している。1～3年の各学級では「新型コロナ禍の差別や偏見の根っこにあったもの」「良い恋愛とは何か」などのテーマに沿って生徒が意見を述べ合った。生徒は「性別にとらわれないトイレの形」など、異なる立場の人を理解して大切にする考え方を発表した。

研究会では、文部科学省教科調査官の堀田竜次さんと同財団学校教育アドバイザー川原容一さんによる講演もあり、道徳科の授業づくりや考え方を伝えた。